

# 年度経営計画(平成30年度)

## 1. 経営方針

### (1) 業務環境

#### 1) 兵庫県の景気動向

平成29年度の兵庫県の景気は、米国や中国向けを中心とした輸出が増加し、設備投資が高水準にある中、生産は増加基調にあり、消費についても堅調を維持するなど、緩やかな拡大傾向を持続させてきました。

一方、原油や鋼材などの資材価格高や人手不足による人件費高など、先行の懸念要素は払拭できておらず、予断を許さない状況にあります。

#### 2) 中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

日本銀行神戸支店の業況判断調査では県内中小企業の景況感に改善が見られるなど、経営環境は全体としては改善傾向にあります。しかしながら、当協会が保証利用企業を対象に実施している景気動向調査との差は大きく、また事故報告件数も微増傾向にあり、現在の好景気を十分享受できていない企業も多く存在しています。さらに、人手不足や事業承継など、将来に向けた経営課題もより深刻になりつつあります。

#### 3) 信用保証を取り巻く情勢

近年、全国的に中小企業者数が減少している中、保証利用企業者数はそれをやや上回るペースで減少しています。信用補完制度は中小企業・小規模事業者の資金繰りを支える重要な制度であり、これを積極的に運用することこそ、地域創生への貢献にほかなりません。

また、信用保証協会法等の改正により、協会の業務に中小企業・小規模事業者に対する経営支援が追加されるとともに、業務の運営にあたっては金融機関と連携する旨が規定されました。改正法が求める新しい協会の姿を追求し、それを現場レベルまで浸透させ、具体の取組として展開する必要があります。

## (2) 業務運営方針

当協会は、今秋創立70周年を迎えます。これを機に、地域に根ざした公的機関として果たしてきた役割を再確認し、「事業の維持・創造・発展に努力する中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会を目指し、地域経済・社会の発展に貢献する」という基本理念のもと、積極的に業務を推進することで地域創生に一層の貢献を果たしていく必要があります。

そのためには、引き続き中小企業・小規模事業者のライフステージに的確に対応した支援を展開するとともに、金融機関との連携を更に深め、適切な協調のもとでの金融支援をより一層推進することで、企業の経営改善、生産性向上を促進していくことが重要です。

加えて、地域社会からの信頼を一層高めるため、ハラスメントや不祥事の根絶を目指し、コンプライアンス態勢を強化していきます。

こうした考え方のもと、平成30年度における当協会の業務運営方針は、以下の1)～4)のとおりとしました。

- 1) 中小企業・小規模事業者の安定的な資金調達を支援するため、絶えず資金ニーズの把握と掘り起しを図り、金融機関と適切にリスクを分かち合いつつ、積極的に信用保証を推進します。
- 2) 金融支援に留まらないよりきめ細やかな経営支援活動に取り組みます。また、創業フェアを始めとする各種イベントやキャンペーンを展開し、創業機運の一層の盛り上がりを図ります。
- 3) 求償権の回収については、効率性を重視しつつ最大化を図るとともに、個々の求償権の実情を適切に把握し、事業再生や生活再建の観点にも配慮して、それぞれに相応しい対応を行います。
- 4) 公的性質を有する機関としての社会的責任を果たすため、コンプライアンスの徹底に取り組みます。反社会的勢力等に対しては関係機関との連携体制のもと、その一切を排除します。

## 2. 重点課題

### 【保証部門】

- 1) 企業のライフステージに応じた資金需要の把握と積極的な保証の提供
- 2) 地域創生に貢献できる創業支援、経営支援の取組の強化

### 【期中管理・経営支援部門】

- 1) 創業支援体制の充実
- 2) 経営改善、事業再生、事業承継に向けた支援体制の強化
- 3) 金融機関や支援機関との更なる連携

### 【回収部門】

- 1) 効率的な回収に向けた取組の実施
- 2) 事業再生、生活再建への支援

### 【その他間接部門】

- 1) 顧客満足度の向上・情報発信力の強化
- 2) 人材育成・組織の活性化
- 3) コンプライアンス態勢の確立
- 4) 危機管理体制の整備
- 5) 安全かつ効率的な資金運用

### 3. 主要業務数値の計画

平成30年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです。

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	4,000億円	102.6%
保証債務残高	1兆800億円	102.9%
代位弁済	171億円	95.0%
回収	65億円	91.5%